

製品詳細

成分・分類（製品名）	オーディオ・ボイスDSP（AK7707）
製品ステータス	量産中
製品特長	多チャンネルの入出力を制御可能な、Audio Hub内蔵のマルチコアDSP 特長01 音源のルーティングと音処理が容易 最大64チャンネルの入出力, 6系統のステレオSRC, Audio Hub機能を内蔵。多彩な音源ソースの統合とルーティングが容易 特長02 マルチコア内蔵DSP 最大クロック周波数295MHzで動作する、Cadence社のHiFiコアとAKM独自のAudio DSPを内蔵。1チップで多彩な処理が可能 特長03 特長あるAudio/Voice機能を提供 Voice機能: ハンズフリー、インカーコミュニケーション、音声認識前処理 etc. Audio機能: Real Space Sound, ASD機能(ESE,ESC)
サステナ①	ドライバーに加速音を聞かせることでスピードの出し過ぎ、アクセルの踏み込み過ぎを低減し、燃費向上に貢献
サステナ②	車室内の音響空間を最適化できるため、スピーカー数を増やすことなく音質向上が可能
コストメリット	マルチコアDSPとAudio Hubによる部品点数の削減とシステム回路の簡略化
拡販対象地域	全域（*インド、南米を除く）
競合優位性	デバイスの特長を活かしたソフトウェアを提供し、コンパクトなソリューションを提案
量産 and / or 検討実績	車載ヘッドユニット、ディスプレイオーディオ



車としての嬉しさ（提案コンセプト）

製品：オーディオ・ボイスDSP（AK7707）

Engine Sound Creator (ESC)

車速/アクセル開度等のCAN情報を用いてリアルなエンジン音や創作音を加速音として生成。それにより、EV/ハイブリッド車においてもリアルで臨場感のあるエンジン音や未来的創作音を加速音として楽しみながらドライブすることが可能。また、加速感を視覚だけでなく聴覚でも感じることができ、スピードの抑制など安全にも配慮できる。その他、車外にエンジン音を出力することで、EV/ハイブリッド車の低速走行時の周囲への警告音としても使用可能。



特長01

音源のルーティングと音処理が容易

特長02

マルチコア内蔵DSP

特長03

特長あるAudio/Voice機能を提供

Real Space Sound (Audio Effect)

車室内の音響空間を最適化し、明るく快適な音を実現。各種オーディオモードにより、ドライバーに最適な音響空間、もしくは全ての乗客に快適な音響空間を提供するモードを選択可能。



お客様の声（ユーザーレビュー：評価点）

ESC：EVでもエンジンや創作音を加速音として車のドライブ感覚が味わえる

加速音を追加することにより目だけでなく耳でもスピードを認識でき安全

Audio Effect：立体感のある音響が楽しめ、ワンランク上の車室内音響空間になる

車としての嬉しさ（提案コンセプト）

製品：オーディオ・ボイスDSP（AK7707）

In-car-communication (ICC)

運転席に装着されているマイクで拾った運転手の音声を後部座席のスピーカーから出力することにより、走行中や音楽再生時の雑音下で運転手と後部座席の人が安全にコミュニケーションをとることが可能。処理による遅延が少なく、窓開けなどの車室内環境の変化に対してもハウリングを抑え、自然な会話を楽しむことができる。また、後部座席にマイクを設置することにより、後部座席の声が運転手にもよく聞こえるようになり、より豊かなコミュニケーションを実現。

Hands-free (HF)

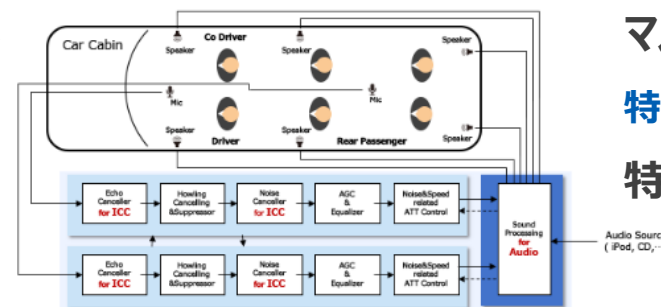
ハンズフリー機能では、エコー収束の早いエコーキャンセラーと自然なノイズ抑圧をするノイズキャンセラーを実装することで、音質を維持しつつ自然な会話を実現。ITU-T, CarPlayなどの規格にも対応可能。

お客様の声（ユーザーレビュー：評価点）

ICC：走行ノイズ下でもドライバーが振り返らずに後部座席の人と安全に会話ができる

ドライバーや助手席のパッセンジャーの声が、後部座席で聞き取りやすい

HF：運転中でも相手の声が聴きとりやすくストレスなく安全に通話が可能



特長01

音源のルーティングと音処理が容易

特長02

マルチコア内蔵DSP

特長03

特長あるAudio/Voice機能を提供